株式会社 ヒラサ製作所

珍しい、

ヒラサ製作所は昭和40年に、

当時では

を生

一かして多様な顧客ニーズに対応

加えて、

ステンレス鍋を

と話す平佐明仁社長は、これらの強

困難な案件を相談されることが多

いといった理由で、

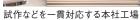
他社では対応

内容

試作部品で創業自動車専門の

コスト 相談

メイドイン ジャバン 試作可小ロット



主な事業内容

機械加工業、自動車部品、航空機部品、 船舶部品などの試作部品製造

主な取引先(納入先)

自動車メーカー、 航空機部品メーカー、船舶メーカー

生

す

主な製品

自動車試作部品、

はもちろん、

脂

ナイ

ū

航空機部品、船舶部品

社長あいさつ



代表取締役社長 平佐 明仁さん

当社は、主に自動車部品の試作を 手がけてきました。立型・横型のマシ ニングセンタや複合旋盤、三次元 測定機に加え、立型 CNC 旋盤を 導入し、お客様のニーズに応えつつ 試作品の製作に幅広く対応してい ます。今後も"お客様とともに伸びる 企業"をモットーに前進していきます。

主な保有設備

- ■立型マシニングセンタ VM-53RIIほか ニデックオーケーケー製 2台
- ■横型マシニングセンタ NH5000/40ほか DMG森精機製ほか 2台
- 複合旋盤 NLX 2500 | 700ほか DMG森精機製ほか 2台
- 立型CNC旋盤 MEGA TURN 600M ヤマザキマザック製 1台
- ワイヤ放電加工機 FA20S 三菱電機製 1台



住 所/〒575-0051 四條畷市 中野本町9-17

T E L/072-876-5815 F A X/072-879-5129

業/昭和48年4月 立/昭和48年4月

資本金/1,000万円

従業員/12名

一貫生産体制が魅力協力会社との連携による

強み

がある。

対

応。このような幅広い対応力に定評

よる 一 コ A/VE提案も可能で、 用途に応じた図面変更などにも対応 ストの低減につなげて 産体制により納期の明 最大の強みは、 「コストに見合わな 貫生産体制にある。このような 協力会社との連携に コストダウン いる。 確化と中間 納期 また、

を取り扱うことができ、金属や非鉄金属 表面処理も行える。また、多様な素材 や船舶の試作部品の製作も手が きた技術やノウハウを生かし、 ップで対応できるのが特徴で、 マシニングセンタによる切削加工の 入手から完成品の納品 力会社などとの連携により、 ワイヤ放電や加工後の熱処理、 近年は、 自動車専門の試作部品の製作 ン樹脂など樹脂加工にも アクリル 自動車業界で培って 樹脂やPO までワンス 航空機 ?ける。 旋盤 材 はじ も手がけることで一 対応が可能となり、 する構えだ。 強固にしている。 技術を磨いている。 検査 めとする難削材の加工においても

体制

ほや 1 0)

か、

測定機器を導入高精度な

で検査体制の強化を進めている。 が多く、これらの期待に応えるかたち また、三次元測定機は最新機種の導入 を用いて検査を行い、 など高精度・高品質が求められる企業 自動車メーカー を検討しているという。 いう面粗度測定機や形状測定機を導入。 に努めている。三次元測定機をはじめ 同社では、 や更新にも積極的に取り組んでいる。 対応するため、 社では測定できない場合が多 客企業による高度な要求品質に 各工程間で複数の検査機器 新たな検査機器の導入 や航空機部品 不良品の発生防止 同社の メーカー 顧客は

他



同社の品質を支える三次元測定機



より幅広い材料への

貫生産体制をより 既製品への追加

立型CNC旋盤など最新設備を保有

